

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	赤十字・献血促進事業				シート番号	007-007
担当部署名	市民人権	局	市民生活	部	市民協働	課 評価責任者(課長名)
						片山

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	昭和 47 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」に基づき、市町村は、献血について住民の理解を深めるとともに、採血事業者による献血の受入れが円滑に実施されるよう、必要な措置を講じている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	献血可能な市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	輸血血液の計画的な確保、献血思想の普及およびその推進を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	○安全な血液製剤の安定供給の確保及び、市民の献血への理解と献血推進を図るため、校区自治連合会を中心とした市民で構成する堺市献血推進協議会に対し、補助金を交付。 ○献血促進に向けた各種広報を実施。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 堺市献血推進協議会				

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費 (a)	千円	500	500	500	500	500	500	500
	主な事業費内訳								
	堺市献血推進協議会事業補助金	千円	500	500	500	500	500	500	500
		千円							
		千円							
		千円							
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他()	千円							
	一般財源	千円	500	500	500	500	500	500	500
12	人件費 (b)	千円	4,100	4,100	4,100	4,100	4,050	2,835	3,690
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	4,600	4,600	4,600	4,600	4,550	3,335	4,190

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	赤十字・献血促進事業	シート番号	007-007
-------	------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	校区自治連合会及び堺市社会福祉協議会、血液センターに参加協力依頼を行い、献血への意識を高めることを目的に、献血街頭広報活動を実施した。7月は、堺東駅前、中区役所及び深井駅周辺、イトーヨーカドー津久野店において、それぞれ1回ずつ実施し、12月は東区役所及び萩原天神駅周辺、泉北高速鉄道 榎・美木多駅周辺、中百舌鳥駅周辺、美原区役所周辺において、それぞれ1回ずつの献血街頭広報活動を実施した。また、若年層に対する取り組みとして、堺市内の大学において5回の献血を実施した。						
		指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		15 献血街頭広報活動の参加人数	人	目標値	182	158	140	170
				実績値	153	136	155	
				達成率	84%	86%	111%	
	評価			普通	普通	良い		
	算出方法・設定根拠など		目標算出方法＝過去実績の10年平均(1の位四捨五入) ※令和元年度までの目標算出方法は前年度実績の3%増					
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		16 地域献血における献血協力者	人	目標値	1,985	1,958	2,180	2,200
				実績値	1,901	2,117	2,153	
達成率				96%	108%	99%		
評価				普通	良い	普通		
算出方法・設定根拠など		目標算出方法＝過去実績の10年平均(10の位四捨五入) ※令和元年度までの目標算出方法は前年度実績の3%増						

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	献血街頭広報活動の参加人数	人	153	136	155
	②	上記①にかかる年間経費	千円	531	531	531
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	3,471	3,904	3,426
	備考(算出についての説明等)		②は、事業費と人件費(従事時間)を計上			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	地域献血における献血協力者	人	1,901	2,117	2,153
	②	上記①にかかる年間経費	千円	914	941	927
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	481	445	431
	備考(算出についての説明等)		②は、事業費と人件費(従事時間)を計上			

業績の分析

19 目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)

○効果的な活動のために、校区自治連合会等の協力を得ることにより、地域でチラシの回覧などを実施した結果、地域献血における献血協力者数及び献血街頭広報活動の参加人数ともに、現状維持ができており、概ね目標は達成できた。
○その一方で、少子化の進展により20代や30代の献血者数の減少が全国的な課題となっている。

- 【分析のチェックポイント】**
- 事業の達成度はどうだったか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	赤十字・献血促進事業	シート番号	007-007
-------	------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 献血の啓発活動の実施ができなくなり、献血者数が減少することで医療機関等からの需要に支障が生じる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 休止した場合、献血の啓発活動を実施できなくなり、献血者数が減少することで医療機関等からの需要に支障が生じる。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 堺市献血推進協議会に対し、事業手法等の見直しを求めることにより、コスト縮減を図る。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 補助事業であるため基本的には改善する必要はないが、献血を実施する際に、大阪府赤十字血液センターと協力して3密対策等のコロナ対応に取り組んでいる。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input checked="" type="checkbox"/> その他(新しい生活様式に対応)	理由・説明 堺市献血推進協議会と連携して献血啓発活動についても、新しい生活様式に対応した活動について検討していく。公民連携、ICT活用、国・府等との適切な役割分担・連携、他政令市等とのサービス水準の均衡については、補助事業であるため、改善の余地がない。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見	コロナ禍により、献血協力者は低減傾向にあるが、将来にわたって献血者を確保していくために、若年層をはじめとしたより多くの市民に対して、献血の啓発・周知活動を推進していく。	